

# 広報 伊方町

発行所 伊方町 豊後町西宇和郡伊方町通浦  
〒736-03 伊方局8-0211  
編集 豊後町西宇和郡伊方町通浦  
〒736-03 伊方局8-0211  
総務課 豊後町西宇和郡伊方町通浦  
〒736-03 伊方局8-0211  
印刷 豊後町西宇和郡伊方町通浦  
〒736-03 伊方局8-0211  
社 豊後町西宇和郡伊方町通浦  
〒736-03 伊方局8-0211

## 4月の紙面

二面……台風シーズンに備えて  
健康の窓  
三面……上坂冬子さん来る  
民話と伝説「河内」  
四面……国民年金の保険料  
歳時記「納涼」

# 共同学習で文化財巡り

七月十一日、豊之浦・水ヶ浦・有寿来の小学校三・四年生による「町の自然と文化財巡り」が行われ、参加した六十八人は熱心に耳を傾けていました。



湊浦の八幡神社で、境内にある末社の一つ、お酒の神様として知られる「松尾神社」の説明を受ける小学校3・4年生の皆さん

今回の「町の自然と文化財めぐり」は、他校との交流を深め、郷土を愛する心情を培うことを目的に行われたものです。この日参加したのは豊之浦・水ヶ浦・有寿来の各小学校三・四年生六十八人。貸切バスで町民会館へ集合したあと、町社会教育指導員の岡村豊さんの案内で出発しました。

族資料を見学。昔の農具や家具に見入っていました。このあと八幡神社、妙楽寺の五輪塔、中浦のあこう樹、川永田の一里塚、法通寺、天徳寺の順で回りました。法通寺では、県指定の天然記念物「まきの木」、伊方驛動の主媒者として処刑された「市右衛門の墓」などの説明を受けていました。小規模校協同学習事業は、今年度豊之浦小・水ヶ浦小・有寿来小の三校が県の指定を受けて実施しているものです。年間六回の事業を計画、写生大会や音楽学習などが予定されています。

## 広くなります水ヶ浦小 一般会計2億8千万円増やす

第七十七回定例町議会が七月十三日に招集され、会期二日間の日程で開かれました。こんどの議会では、昭和五十九年度一般会計補正予算(第一号)、昭和五十八年度水道事業会計決算の認定など十四議案が上程され、審議の結果、全議案が可決承認されました。可決承認された主なものは次のとおりです。

- 町税条例の一部改正  
軽自動車税の一部が改正されました。主なものは、原付自転車では五十cc以下が二十cc以下(旧七千円)、五十cc以上九十cc以下が二十二百円(旧一千四百円)、九十cc以上百二十五cc以下が一千六百円(旧一千四百五十円)になりました。
- 衛生  
霊柩車業務委託 五十一万円  
小規模下水道整備(畑・加周・大浜・小中浦・鳥津) 二千二百十万円
- 民生  
中之浜児童遊園整備 百三十五万円
- 総務  
須賀集会所建設費調査委託料 二百二十九万円  
地区自治活動促進費  
仁田之浜 四百四十二万円  
河内 五百九十六万円  
湊浦一 六百一十一万円  
湊浦二 四百四十八万円  
川永田一 七十七万円  
川永田二 百二十六万円  
豊之浦 五百三十四万円  
向 二百九十四万円  
畑 百九十八万円  
須賀 二百一十一万円  
久保 百二十七万円  
加周 四百八十二万円
- 農林水産  
川永田農村基盤整備 六百六十万円  
有寿来農道舗装 二百五十万円  
伊方漁港関連整備 一千八百九十万円  
田之浦漁港部改良 三千五百三十万円  
王木 四十二号線改良舗装 三千七百万円  
伊方港灌漑地区高砂対策 一千六百万円  
伊方港改修 一千万円  
湊浦公営住宅建設 四千七百九十七万円  
消防  
田之浦(石見)防火水槽整備 三百二十七万円  
教育  
水ヶ浦小学校用地造成 二千九百六十万円
- 9年連続黒字  
●昭和五十八年度的水道事業会計決算書の認定  
昭和五十八年度の水道事業会計の決算が認定されました。これをみますと、水道料金収入などの営業収益が六千九百九十万円に対し、施設改良や修繕費などに使った営業費用は五千九百五十七万円。差し引きすると二百四十二万円の営業利益となります。

千二百円(旧六千五百円)に改正されました。このほか、町民税の課税所得額が三百七十万円以下で税率と区分が改正され、一部で税率もアップしています。

●国民健康保険条例の一部改正  
国民健康保険税の税率のうち、所得額が百分の五六に(旧五三)、税額の最高限度額が二十八万円(旧二十六万円)に改められました。

●三十七億円に  
●昭和五十九年度一般会計補正予算(第一号)  
歳入歳出それぞれ八千六百八十四万円追加され、総額三十七億五千二百五十七万円になりました。支出項目別の主な補正内容は次のとおりです。

# 年平均3つはやって来る

## 台風の通り道に住む

日本は台風の通り道で、わたしたちの住んでいる四国は台風の玄関口といえます。過去三十二年間の記録を見ても、一年間に平均三つの台風が上陸しており、一つも上陸しなかった年はありません。県内でも、昨年九月二十八日に台風十号が九州を横断して宇和島市付近に上陸しています。

できることなら、台風とは顔を合わせたくない——と思っはみても、相手は「天災」。日本に住む以上、わたしたちは台風について勉強しておく必要があるようです。

災害を防ぐため、台風が近づいたときはテレビやラジオの台風情報に注意するとともに、非常用品の準備、避難場所の確認をしておきましょう。

### 枕崎デラールス

「最近、大きな台風は来たらんが」と思われるかがあるかも知れませんが、昨年も一つ、一昨年は二つの台風が県下に接近または上陸しています。(下図の台風通過経路図参照)

参考：伊方町誌から、昭和二十年以降に町内で大きな被害があった台風をひろってみました。

まず、二十年九月十五日から十八日にかけて西日本を襲った台風十六号がありました。



な防波堤がなかったため大波が民家を襲う

## 風雨のほかにも高潮 台風が海に变化を与える

「枕崎台風」と呼ばれ、九州南部から豊後水道を北上したため暴風雨が続き、家屋の全半壊、船舶・宅地の流出などで損害甚大。昭和九年の室戸台風にも匹敵すると記録に残っています。

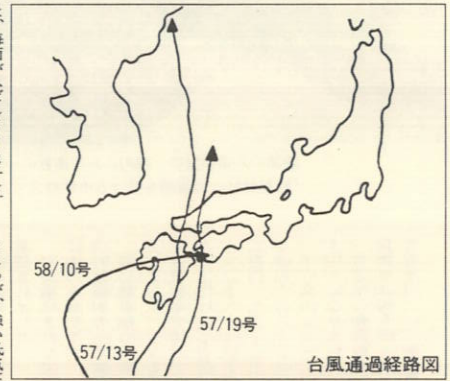
次いで、二十四年六月二十日から二十一日にかけては台風二号、別名「テラ台風」が九州から四国に上陸。出漁中の漁船などに被害が出た。特に日振島の漁船が多数遭難し、村内消防団の救助作業で遭難者百二十六人を救護したとあります。

強い風、激しい雨、台風と聞くといくつかのイメージを浮かべる人が多いでしょう。しかし、それだけではありません。海底地震が津波を起すように、

### 大きな被害が

テレビの台風情報で次のような画面を眺めたことのあるでしょう。暴風雨の中、マイク片手にイヤホンをつけたテレビ局の記者、その背後には打ち寄せる大波。高潮警報が発表された現地からのレポート風景です。

昭和二十四年九月二十六日——和歌山県潮岬(しおのみさき)付近に上陸した台風の中心は、名古屋市のすぐ西を通ったため、伊勢湾沿岸で



※上図は、松山地方気象台で作成した台風通過経路図を、図上にまねて記入したものです。

### 海のはらん

気圧と海面上昇の間には、海面がはらばらしくなるという関係があります。

### 海面が上下する

潮干狩りや海に出たとき干上がっていた場所も、時間がたつにつれ水かさが増してきます。遠くから見て、それまで沖のほうに退いていた波打ち際が進んできて、海面が上昇してくるのが分かります。

これは、主に月や太陽の引力による影響で、海水が移動するためです。移動は普通一日に四回、満ち潮、引き潮それぞれ二回起きます。

また、強い風による波やうねりがこれに加わりますから、ふだんよりも高くなった海面から、海水が海岸に吹き寄せられ、海面はなお一層上昇します。

昭和九年九月二十一日の室戸台風では、大坂湾の海面はふだんよりも三メートル上昇し、海岸から四キロ入った内陸部まで浸水しました。

## 健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

### 結核検診

結核は、過去の病気でありますが、昭和十五年まで死亡原因の第一位を占めていました。国民の栄養生活水準の向上によって減少してきました。

しかし、オランダ・デンマーク・イギリス・アメリカなど年間結核死亡率が人口十万人に対しておそく一人であるのにくらべ、日本は九人と多く、結核に関しては先進国といえないのは先づきです。

今年度の結核検診は左欄の日程で行いますので、ぜひ受けまわりますように。

場	場所	時間	対象	備考
(甲)	河川水田コミュニティセンター	9:00-9:50	河川水田	内一浦
	川水田コミュニティセンター	10:00-15:00	川水田	
(乙)	中津浦集会所	9:00-11:30	中津浦	中之浦
	大津浦集会所	13:30-14:30	大津浦	
(丙)	保津浦集会所	14:40-16:00	保津浦	小中津浦
	龜浦集会所	10:00-11:30	龜浦	
(丁)	伊方越集会所	13:30-15:00	伊方越	仁田之浜
	仁田之浜公民館	9:00-9:50	仁田之浜	
(戊)	新川集会所	10:00-11:30	新川	水田二浦
	豊之浦集会所	13:30-15:00	豊之浦	
(己)	町見公民館	10:00-11:30	町見	畑畑
	二見公民館	13:00-15:00	二見	
(庚)	二見公民館	15:10-16:00	二見	古風敷
	田成集会所	9:00-9:50	田成	
(辛)	大鳥成集会所	10:10-10:40	大鳥成	津津
	大鳥成集会所	10:45-11:30	大鳥成	
(癸)	二見集会所	10:00-11:30	二見	見見
	西久保集会所	10:00-11:30	西久保	
(甲)	西久保集会所	13:30-15:00	西久保	久保
	西久保集会所	13:30-15:00	西久保	

# 民話と伝説

原文/伊方町誌 補作/岡村 豊  
挿絵/宇都宮利久(前伊方小教頭)

13

## 台風の正体 熱帯低気圧

熱帯の海に発生する低気圧を熱帯低気圧といいますが、世界中で一年間に平均約七十個が発生します。そのうち二十七个が台風です。

台風とは、北太平洋西部および南シナ海に発生し、中心付近の風速が毎秒十七メートルを超えた熱帯低気圧のことです。

台風の日本への上陸数は、年によって多少異なっていますが、過去三十年間の平均では一年間に三回です。初めて発生した台風を「昭和××年第一号」と名付け、あと発生順に番号をつけます。

す。

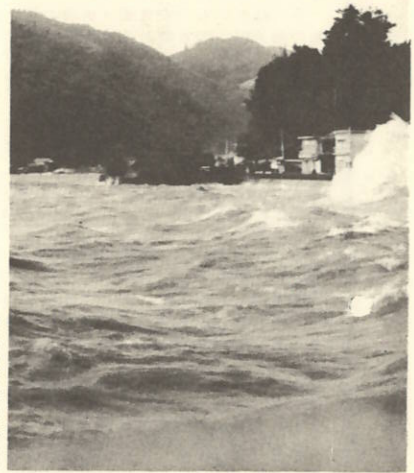
三年前から台風に国際共通番号を付けることになり、命名は日本が担当し、アジア各国に電報で知らせることになりました。この国際共通番号は、例えば「昭和五十六(一九八二)年第八号台風」を「八一〇八」というように西暦の末尾二ケタの年号を用いるものです。

英語の名前は米軍が付けているもので、日本では参考として用います。

## 中心の動きと 暴風・強風域

台風が来ると、中心の動きばかりに気をとられる人があります。しかし、台風は中心のまわりを直径が数百キロにおよぶ暴風域、強風域、強い雨の区域を持つてくることを忘れてはなりません。

レコードでは、真ん中に小さな穴があつてプレーヤーに固定します。しかし、音の出るはその中心の穴ではなく、まわりの音溝です。台風はレコードの音溝に相当する区域が猛威をふるうのです。この猛威をふるう区域は、周囲の高気圧などの影響を受けながら、その範囲を広くしたり狭くしながら日本に接近し、およぶ暴風域、強風域、強い雨の区域を持つてくることを忘れてはなりません。



51年ころの中浦海岸、今のよう

## 日ごろの心構え大切 生命・財産を守るために

こうして恐ろしい台風の被害を最少限に食い止めるには、わたしたち自身の日ごろの心構えが最も大切です。そこで、これか迎える台風シーズンに、前に、わたしたちが災害から生命・財産を守るために気をつけた点を見てみましょう。

- ▽停電したら真っ暗やみ——これでは、お手上げの状態です。懐中電灯・ロウソク・トランジスタラジオなどを用意しておきましょう。
- ▽避難するときの携行品を非常袋に入れ、すぐ持ち出せるように置いておきましょう。
- ▽お年寄り・子供・病人などのために、ふだんから安全な場所を確保しておきましょう。

## 身の回り 備えは万全に

- ▽いざというときに備えて、自分たちが住んでいる地域ではどんな災害が起こりやすいかを調べ、災害が発生した場合に備えて安全な避難場所と避難経路を確認し
- ▽「台風が近づいた……」
- ▽ラジオ・テレビの台風情報や注意報・警報などが次々



台風

に発表されるので、よく聞いて対策をたてましょう。  
▽窓や雨戸はしっかりカギをかける一方、必要に応じて家屋・塀などを補強し、溝や下水の流れをよくしておきましょう。

《避難するときには……》

▽まず、お年寄り・子供・病人を早めに避難させることです。

▽災害状況を軽くないこと、役場・消防・警察などの防災機関からの広報に注意しましょう。町では広報無線に情報をお知らせすることになります。

△お年寄り・子供・病人などのために、ふだんから安全な場所を確保しておきましょう。

己れ一人は鞍馬山  
二、仇きの平家を滅ぼして  
われら源氏を興さんと  
昼は学問、剣術を  
人目を忍ぶ夜のあだ  
三、七ツ道具を投げ出して  
四、鴨越えの坂落し  
屋島の海の八隻とび  
壇の浦には弓流し

## 源平由来の地

その2

追う手の源氏は「黒崖」に、それを迎える平家は「たつ谷川」が流れておりますが、この「たつ谷」を挟むように、東の方に「黒崖」、西の方には「たつ谷」があつてな、どっちも山の地肌突きさすように、大きな岩が顔をのぞかせておりますが、

## 源氏ヶ崖と平家崖

河内

源平の戦いに敗れた平家の残党が、伊方越の瀬の浦(退の浦)にあり、山を越えて佐瀬部浦(今の湊浦)の八幡神社へ下り行つたら、今のような神社はなく、巫子(みこ)さんがおつたので、お祈りをしつて一夜の宿を借りた

戦があつたそうではない。戦いに敗れた方の岩が小さくなり、勝つた方の岩が大きくなつたりしたといひ、敗れた平家は宝物を地に埋めて、また、他の地に落ちのびて行つたそうである。

かという話もありますが、じやが、だれも探した話はありません。源平の戦いに関する歌(小学国語読本から)  
一、父は尾張の露と消え  
母は平家に捕えられ  
兄は伊豆に流されて



係から

町内の、源平にゆかりのある所を連載したいと思つています。ご存じの民話や伝説がありましたらお知らせください。役場総務課広報係まで。

## 上坂冬子さん迎え 8月4日 町民会館で愛媛夏期大学

- 愛媛夏期大学
- 講師 上坂冬子
- 演題 「人生のドラマ」 私の取材ノートから
- 主催 町教育委員会
- 日時 八月四日(土) 午後二時から約一時間半
- 場所 伊方町民会館四階大ホール
- 入場料 一人三百円
- 申し込み方法 中央公民館・町見公民館・二見公民館へ入場券を発売しています。また、町文化協会加盟の各種団体でも取り扱っています。
- バス便 当日、バス便の配車を計画しています。出発時間や停車場などはマイク放送でお知らせいたしますのでご利用ください。加周及び九町方面三台の子定。



町教育委員会では、作家であり評論家としてテレビなどでおなじみの上坂冬子さんを迎え、愛媛夏期大学を開催いたします。多数ご聴講ください。

**略歴紹介**  
上坂 冬子(かみさか ふゆこ)  
片書 作家・評論家  
出身地 東京都  
出身校 名古屋文化学園  
略歴 昭和5年6月10日生まれ。名古屋文化学園を卒業後、トヨタ自動車工業(株)人事課に就職。13年間の勤務ののち文筆・評論活動に入り現在に至る。この間、34年に処女作「職場の群像」(中央公論)を発表。主な作品に「おんなの一人旅」「単鴨ブリズン13号鉄扉」「生体解剖——九州大学医学部事件」「慶州ナザレ園——忘れられた日本人妻たち」「お母さんは不思議な力がある」などがある。

月
7月30日
7月31日
8月1日
8月2日
8月3日
8月4日
8月31日
9月17日

歳時記

納涼

水銀柱の上昇とともに、クーラーの消費電力が上がり、電力供給がピンチになるというご時勢なので、納涼などという風流な言葉は忘れられようとしています。昔の人々は、納涼の行事をいろいろ工夫しました。水辺に出て涼風を求めたり、納涼船を出して楽しんだものです。江戸時代、京都四条河原では、流れの上に懸掛けをしつらえ、そこに座って足を水にひたしたものでした。

そのほかにも平安貴族が炎暑の候に詩歌の会を催すのも暑さを忘れる行事だったようです。江戸に流行した夏の夜の怪談噺や題だめし、涼味を味わうためでした。

もっとも、最近では自然回帰が目玉されはじめ、森林浴やジョギングでいい汗をかいて夏を乗り切ろうという人も増えてきました。各地の川開きも盛んになり、東京・隅田川にはエンジンを付しながら屋形船も復活しました。

町内の「わぬけ」行事(夏越祭)は、伊方が7月29日、九町が31日に行われます。近郊では、8月3日・4日が大洲の川まつり花火大会、8月15日には八幡浜みなと花火大会が計画されています。

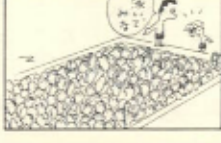
ところで、夏の賑入りは、昔の働く青少年にとっては正月とともに最も楽しいものでした。

それと直接の関係はありませんが、この時期あたりに設けられたのが7月の第3土曜日(今年は21日)の勤労青少年の福祉に関する国民の関心を高めるための相互な理解、築こう確かっている国際青年年行事をひかえて、各地で展開されています。



それは、わたしたちみんなの貴重な財産です。シルクロードの昔から、道路が人や文化

さかやか君



四・五・六月の国民年金保険料は、もう納められましたか。

現在の保険料は、今年の四月納付分から一カ月六千二百二十円になりました。何カ月もたてると納めにくくなります。まだの人は早くに納めましょう。

納めましょう。

保険料を納め忘れたりして、そのままになっていると万一の病気やケガのとき、ご主人にもしものことがあったときなどに、障害年金や母子年金を受けられなくなります。また、長い間保険料を納めずにいると将来、老齢年金を受けられないことにもなります。

国民年金は老後の生活設計に欠かせない大切なものです。国民年金は老後の生活設計に欠かせない大切なものです。国民年金は老後の生活設計に...



もう一度確かめて 国民年金保険料の納付

一部を加入者に融資して、立てていただくものです。この融資を受けるには、住宅金融公庫の住宅貸付と併せて利用することになっています。

○利用できる人  
現在、国民年金の加入者で加入期間が三年以上ある人、最近の二年間に保険料の未納がない人。

○問い合わせ先  
申し込みの手続きを問合わせは、住宅金融公庫取り扱の金融機関へ。

情報や文化を運ぶ 8月は道路をまもる月間

古代の交易路として有名なシルクロード。中国と地中海東岸を結ぶこの道は、絹や宝石などとともに、仏教をはじめとする多くの文化を運び続け、東西交流の大切なパイプ役を果たしてきました。

このシルクロードに象徴されるように、道路は、遠い昔から人や物の往来とともに、さまざまな情報や文化を運び続けてきたのです。

八月は、「道路をまもる月間」です。時代の流れとともに、道路の果たす役割も変化してきました。今では、コミュニケーション・情報活動の場として、はちろんのこと、防災空間としても、大切な役割を担うようになりました。しかし、いつの時代にあつても、わたしたちの社会生活を支える基盤であることに変わりはありません。

道路は、わたしたちみんなの貴重な財産です。シルクロードの昔から、道路が人や文化

町内の交通事故

7月1日現在	38件
発生件数 (6月……7件)	
13人	
負傷者数 (6月……1人)	

最近、道路沿いでの青空駐車が目につきます。理由はどうか、違法行為です。ご注意ください。

路上への駐車は、通行の妨げになるばかりでなく、駐車している車の前後から出てくる歩行者の確認ができにくく、重大事故の原因になりかねません。八幡浜警察署では七月下旬ごろに一斉取り締まりを計画しています。伊方・町見駐在所

食中毒に注意

七月から九月の三カ月間に発生する食中毒は年間発生件数の約六割を占めており、この時期は食品の衛生的な取扱いに注意する必要があります。

一般にカビの生えた食品や腐ったものを食べれば食中毒にはならないと思われていますが、食中毒菌は増殖しても色やにおいに変化はな

お札

名吉屋市西區天塚町四丁目六九一二にお住いの西内清司さん(種出身)から一万円。

広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

昭和59年6月1日現在 世帯数2,579戸(+16戸)

人

8,608人 (男4,142人(+16人) (+21人) 女4,466人(+5人))

えんむすび

昭和59年5月1日  
5月31日  
氏名 本籍

お誕生おめでとう

よい子に育ってください  
昭和59年5月1日  
5月31日

おくやみ

昭和59年5月1日  
5月31日

人権コーナー

つめたい目 やめようなくそう 「きみとぼく」 浪下 静さん(九町小四年)

浪下さんの講話は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品・読書部門で「人権擁護委員伊方部会長賞」に選ばれたものです。



ごちら編纂室

七月二十一日から町内の小中学校は「夏休み」に入ります。夏休み二日間の長い休み期間、生活習慣のみだれで体調をくずすことのないよう十分ご注意ください。楽しみを満喫するに、

夏休みは、計画を立てて学習するチャンスです。読書や地域の研究など、ふだんできないことにも挑戦してほしいものです。

ちょっと前のテレビコマーシャルに「わんぱくでも、たくましく育ってほしい」というのがありました。体を鍛えるのにもよい機会です。真っ黒に日焼けした元気な伊方っ子に。